



みらいん

たいはく

「みらいん」は、
震災からの復興に向けて
歩むまち・仙台の“ひと”と“地域”の
今を結ぶ情報紙です。



今月のひと

仮設住宅で暮らす方々に 寄り添い続ける地元団体

**支援する側、される側という立場ではなく
同じ町内に住む者同士として関わりたい**

「長町に仮設住宅が建つと分かった時から、私たちに何かできるといいねって話していました」と振り返るのは、「長町まざらいん」の一員として仮設住宅でサポート活動をしている谷政子さん(写真中央)です。長町まざらいんは、長町の新しい住民と古くからの住民をつなぐことを目的に十九年前に発足した団体です。あすと長町仮設住宅の入居がはじまった二〇一一年五月から、喫茶や落語会など、さまざまな催しを行ってきました。団体名の通り「地域にまざらいん」という思いからはじめた仮設住宅での活動は、「支援ではない」と言う谷さん。同じ町内に住む者として、同じ立場で、必要なことがあれば手助けしているだけだと言います。「押し付けるような活動はしたくない」という思いから、自治会の役員の方も交えて打ち合わせをするなど、仮設住宅にお住まいの皆さんのニーズに寄り添う活動を心がけています。

「喜ばしいことですが、私としては、皆さんが今後長町を離れることが少し寂しくもありま
すね」と語る谷さん。仮設住宅がな
くなるまで関わり続けたいと話す
表情は優しさに溢れていました。

2014
3月

座談会

東日本大震災の発生から、まもなく三年。現在も百八十世帯が暮らす「あすと長町仮設住宅」の方にご協力をお願いし、今までの生活や当時の思いなどを振り返る座談会を企画。自治会役員を含む六名の方に語っていただきました。

入居開始当時の思いを教えてください。

佐々木 とにかく避難所生活から抜けだしたかったんだ。仕切りすらまともじゃない場所だったし、プライベートもなにもなかったからな。

赤間 最初はすごく怖かったのよ。大きな施設なのに入居者が少なくて。まるでゴーストタウンみたいだったわ。

山本 でもとにかく早く落ち着きたかったから、入れた時はホッとしました。

菊地 震災後は私の居場所がなくなってしまい、毎日が不安でした。だから入居が決まった時は本当に安心しましたよ。

飯塚 私は犬と一緒に暮らしていたので、最初は借り上げ民間賃貸住宅を探していました。でもペット可の物件がなくて。それで仮設住宅へ入居を決めたんだ。

鈴木 私のところにも犬がいたので、借りられそうな物件がありませんでした。それで泣く泣く…ご近所の方たちと離れていったような気がするけど。

赤間 イベントや催しで何度か顔を合わせるようになってから、少しずつ顔見知りが増えていったのよね。

菊地 この仮設住宅は、そういった機会が多かったから。だから私もほかの方たちと仲良くなっていけたと思います。

山本 そうそう。皆で一緒に花壇とかにお花を植えたりするでしょ。あれは本当に良いことよねえ。

普段の生活で何か気になることは？

鈴木 そうねえ…例えば隣の家の音って気にならない？ 話し声とか生活音とかがうるさいとか。さすがに話している内容までは聞こえないけど。

赤間 そう？ 私は特に気にならないけど。あまり聞こえないわよ。

佐々木 音は確かに気になることもあるけど…生活音はしょうがないよね。時間帯は考えてほしいけど、逆に何の音もしないとそれはそれで気になります。

ばなれになるのを覚悟で、あすと長町の仮設住宅へ入居することになりました。

住み始めてからの心境は？

鈴木 悩んだ末の入居だったせいか、初めは外出する気分になれませんでした。家族全員が落ち込んでいましたね。

山本 私はどちらかといえば満足でしたね。同じ境遇の方が多かったから、逆に前向きな気持ちになりました。

菊地 知らない土地での生活が不安だったので、まずは周りの方と仲良くするたため挨拶を欠かさずしていましたよ。

赤間 私はコミュニティ入居だったのが良かったです。こう見えて寂しがり屋なのよ。おしゃべりできなかったら、もっと落ち込んでいたと思います。

佐々木 かあちゃんが同じようなこと言っていたな。コミュニティ入居で良かったって。被災前に住んでいたマンションと違い、ここだと向こう三軒両隣のお付き合いがで

なることも。
菊地 隣に住んでいる人がまったく外出をしない方で、その姿をほとんど見たことがありません。夜中に活動しているみたいで、生活音で眠れないこともありましたが、逆に日中はとても静かで心配になることがありません。

飯塚 今あすと長町仮設住宅には、約百八十世帯の方が入居しているけれど、未だに顔を知らない方もいる。できれば住んでいる人たち全員と顔見知りになりたいよね。これからの課題かもしれない。

菊地 来た時は精神的に不安定だったけど、皆さんと一緒に生活するうちにようやく自分の心も晴れてきました。
山本 最近は自分のやりたいことをやれるようになってきました。幸せに過ごせていると思います。

仮設住宅での生活の感想を一言。

鈴木 今はイベントにも積極的に参加できるようになり、毎日の生活に張りがでてきましたね。楽しいです。

きるって喜んでたよ。人見知りだった自分たちも、ずいぶんコミュニケーションがとれるようになった。



仮設住宅での思い出はありますか？

佐々木 最初の年は毎日のようにイベントなんかがあつて。いろんな支援物資も配つてたりしたよね。

鈴木 私たち家族は最初の頃、みんなの輪の中に入っていけなくて。夏祭りあたりから積極的にお手伝いをするようになった覚えがあります。

飯塚 なんか最初からいつも手伝ってくれ
佐々木 そうだよ。この新しい繋がりが、これからの未来でも長く続くといいんだけどなあ。
赤間 本当にそう。地震は確かに不幸な出来事だったけど、皆さんと知り合えたのは本当に幸運だったと思います。

飯塚 もし皆さんが望むのであれば、このコミュニティは、今後も大切にしていきたいと考えています。皆さん、これからよろしくお願ひします。
一同 よろしくお願ひします！



座談会に参加したメンバー(敬称略・()内は被災時の居住地)



鈴木 摩美 (宮城野区蒲生) 赤間 順子 (若林区荒浜) 山本 マスエ (石巻市渡波) 菊地 成子 (巨理町荒浜) 佐々木 友夫 (宮城野区高砂) 飯塚 正広 (岩沼市)

あすと長町仮設住宅のあゆみ

2013年	2012年	2011年
11月 秋の防災訓練	11月 防災訓練	12月 敷地内に花壇を設置
8月 夏祭り	8月 夏祭り	12月 太白区と初の懇談会
6月 春の防災訓練	4月 中央広場に花壇を設置	11月 初の防災訓練
3月 追悼集会	3月 自治会発足	10月 運営委員会によるプログ開設
	2月 雨水タンクを設置	8月 運営委員会発足
	1月 敷地内駐車場の舗装が完了	5月 入居開始
	1月 民間警備会社が見回りを開始	

みらい編集部は、毎日読者の皆さんと一緒にさまざまな催しや出来事に参加し、取材しています。その一部をご紹介します。

●11日(土) はじまったばかりですよ
(太白区中央市民センター)



石巻茶話会での一コマ。自己紹介で新年早々「来年も参加します」と言う男性に、すかさず「今年もまだあるよ!」とツッコミが入り、場内は笑いに包まれました。

●15日(水) 避難には協力も必要です
(グループホームなつぎ埜)



なつぎ埜で行われた避難訓練に、あすと長町仮設住宅にお住まいの方が参加しました。「散歩中に警報を聞きつけて駆け付けたご近所さん」という設定で、真剣に取り組んでいました。

●18日(土) どじょうすくいに挑戦!
(太白区中央市民センター)



ほのぼの中央サロンで参加者の方がどじょうすくいに挑戦しました。ボランティアの方の指導を受け、ステージで皆さんに披露。初めてとは思えないほど、さまになっていました。

●21日(火) 皆でおめでとう!
(中田市民センター)

達者DEサロンに匿名希望の素敵な紳士からケーキが差し入れられ、サプライズお誕生会が開かれました。主役は参加者の皆さん全員です。1月生まれの方も12月生まれの方も、1年分皆まとめてお祝い。お互いにバースデーソングを歌い合いました。

そんな中、6月生まれの日野さんが「1月生まれの人はいいなあ。俺も祝われないなあ」と一



言。「今、ちゃんとあんたも祝ったべつちゃ」「んだったの?」。きちんと皆祝われていましたよ!

●23日(木) 可愛らしくできました
(NTT八木山社宅)



みやぎ生協のふれあい喫茶でつくったのは、アクリル毛糸を使った「サッサードール」。飾っても可愛く、ササッと掃き掃除もできる優れものです。お掃除が楽しくなりそうです。

●28日(火) ゆったり太極拳
(NTT三神峯社宅)



ふれあい喫茶で太極拳を行いました。ゆったりとした動作ですが、効き目は抜群です。「体がほかほかしてきたわ」と参加者の皆さん。皆で楽しく体を動かしました。

●31日(金) 手づくり料理で新年会
(あすと長町仮設住宅)



仮設住宅にお住まいの皆さんと支援団体「杜の都チームドルフィンドリーム」の皆さんが、新年会を開きました。テーブルに並んだ料理は仮設住宅にお住まいの皆さんで手づくりしたものです。美味しいちゃんこ鍋やいなりずしに舌鼓を打ちながら、互いに親睦を深めました。中でも生地から手づくりしたピザは大好評。

「ピザ屋でも開いちゃおうかな」と、ピザづくりを担当した大湯さんはうれしそうに顔をほころばせていました。

読者から
ひびく

●東日本大震災の発生からもうすぐ三年。仮設住宅での生活も長期に及んでいます。何か新しいことを始めたいと思うのですが、住まいが落ち着かないとなかなか始められないものです。今年は平穩無事に過ごせれば、それで良いと思っています。

太白区/Mさん

●体調を崩してしまいました。昨年自宅をリフォームして戻ったところから疲れがでてきたのかな。家族には迷惑をかけちゃうけど、この機会にゆっくり休ませてもらうかと思えます。健康になって世話になった人にも恩返ししたいですね。

若林区/Sさん

●毎日近所(和田)を散歩していて、今日は堀のシラサギを眺めていたところ。借り上げ民間賃貸住宅で妻が体調を崩し、和田に戻ったところ落ち着いてきました。息子は震災後に岡田へ移り、孫には子どもが産まれました。お互い甘えずに生活しています。この先は田子西へ移る予定です。

宮城野区/渡邊汎さん

まちの語り場

集団移転、単独移転、現地再建…。沿岸部にお住まいだった方は今、お住まいの再建に向けて地域ごとに話し合いを進めています。このコーナーでは、それぞれの団体に話し合われている内容についてお知らせします。

宮城野区

中野小学校校区
復興対策委員会

中野地区四町内会(港、蒲生、西原、和田)が丸となり、復興に向けた活動を行っています。

二月二日(日) 定例会議

内容

●復興事務局から説明と報告
●三月九日(日)実施の合同慰霊祭について

当日の様子



問い合わせ先
委員長 高橋実 022-258-3068
定例会議
毎月第1日曜日16:00~
高砂市民センター2階会議室

防災集団移転促進事業の個別相談会で行われた建築セミナーの資料をもとに、復興事務局から「補助金・支援制度」「住まいの復興給付金制度」のほか、日本FP協会宮城支部作成の「移転モデルプラン」による住宅再建の説明並びに質疑応答がありました。
三月九日(日)の合同慰霊祭は、多くの方に手を合わせていただけよう、自由参加になりました。

宮城野区

南蒲生復興部

個々の生活再建と復興を迅速に進めるため、南蒲生独自の復興まちづくりを進めています。

一月二十四日(金) 定例会議

内容

●南蒲生町内会における再建状況の報告
●二〇一四年度復興まちづくり概要について

当日の様子



問い合わせ先
代表 芳賀正 080-1663-7382
定例会議 毎月第3木曜日
合同役員会 毎月最終日曜日
岡田会館

町内会の再建状況について、二百二十世帯のうち、現地再建(リフォーム等含む)は百七十四世帯、他の地域への移転は四十六世帯との報告がありました。
また、二〇一四年度の復興まちづくり概要として「新しい田舎」をコンセプトに、避難施設・道路の提案や現地再建状況マップ作成のほか、新潟県中越地震の被災地視察検討も報告されました。

若林区

明日の三本塚を
考える会

東六郷地区における農地と宅地の一体的な整備や住民主体のまちづくりを目指しています。

一月二十四日(金) 定例会議

内容

●現地再建の状況報告
●学習会について

当日の様子



問い合わせ先
代表 小野吉信 090-3122-4843
会議、学習会は自由参加、随時開催

現在三本塚で現地再建中の会員から、住宅建築工事の進捗に関する情報提供がなされました。また、三月開催予定の学習会のテーマとして、東部道路とかさ上げ後の県道に囲まれた地域が抱える内水問題や、持続可能な集落づくりについてなどが挙げられました。学習会という固いタイトルではなく、気楽に参加できる集まりにすることも検討されました。

若林区

荒浜復興公営住宅
(戸建)推進協議会

戸建の復興公営住宅を希望する方々の勉強会です。

二月十日(月) 定例会議

内容

●東松島市の災害公営住宅を勉強

当日の様子



問い合わせ先
代表 渡辺勝江 (問い合わせがある場合には直接会場までおいでください)
会合は随時開催
荒井小学校用地仮設住宅集会所

東松島市に建てられる戸建または長屋式の災害公営住宅の平面図を見ながら、意見交換が行われました。家族構成、自家用車やペットの有無など、参加者それぞれの事情や要望に対応可能な住宅が建築されるよう、積極的に意見が交わされました。また、三月に東松島市の戸建の災害公営住宅の見学を行う計画となりました。

※記載している内容は、各開催日現在での情報です。最新の情報については各団体へお問い合わせください

東日本大震災から丸三年。今、さまざまなかたちで支援が続いている方々がいます。支援を続ける方々は、どんな思いで活動しているのでしょうか。被災地で取材を続ける情報ボランティア@仙台の大学生記者が取材しました。

「あらなんだい、髪切ったの！」「さっぱりしたでしょ、あははは(笑)」。宮城野区の仙台港背後地六号公園仮設住宅集会所に設けられた臨時の施療室で、弾んだ会話が交わされています。毎月第二、第四木曜日に開かれているカイロプラクティックの施療ボランティア。単身で活動している療術師飯田真志さんは、利用する住民の方々とすっきり気心が知れた間柄です。



ボランティアに話しかける飯田さん

人体が持つ自然治癒力を活性化して健康を取り戻すという「手技療法」。飯田さんは利用者の腰や肩、股関節など体の部位に優しく手を当て、加齢や生活習慣などでずれしてしまった骨の位置を正常な状態に戻します。実際に見ていると、施療前は明らかにずれていた左右の骨盤の位置が、しばらく手を当てただけで修正されました。「力をかけることは全くありません。じっと、こうやってしかるべき場所にそっと手を当て続けるだけなんです」と飯田さん。

一月下旬。外から明るい日差しが差し込む午後の集会所には、一人、二人と利用者が訪れ、飯田さんの施療を心待ちにしている様子でした。二〇一三年四月から続けられている施療ボランティアは、女性を中心に二十歳代から八十歳代の幅広い年齢層の住民が利用しています。こちらの仮設住宅で活動する以前、七カ月にわたって東松島市内の仮設住宅でボ

ランティアをしてきた飯田さんは、これまでに四百人を超す方のケアをしてきました。



体の部位にそっと手を当てる施療

青葉区落合の自宅で「真心堂療術院」を営む飯田さんは、元銀行員です。過労で体調を崩してしまい、三十八年間勤めた職場を定年前に去りました。闘病生活の末、恩師の生き方と自分の体験を重ね合わせ、「病の苦しさを身を持って経験した私」が、今度は逆に病に悩む方々の助けになれば」と一念発起。五十代半ばにして療術師を目指し、資格を取得しました。現在、宮城県療術師協会

の理事長、事務局長を務めています。「苦しんだ自分が、身につけた技術で今苦しんでいる人たちを助けたい」。療術師を志した気持ちと、被災地でボランティアを始めた気持ちとは同じです。「今後は要望があれば、ほかの仮設住宅などでもボランティアをしたい。体の不調や悩みなどがあられる方々はまずは連絡いただければ対応したいです」と飯田さん。「皆さんから『おかげで体が楽になった』などという言葉が、いざというときに、続けてきて良かったなあとつくづく思うんですよ」。

施療ボランティア

施療日：毎月第2・第4木曜日
時間：9:30～17:00(施療時間は一人30分)
会場：仙台港背後地6号公園仮設住宅集会所
利用無料(施療を受ける方は、とっくりセーター、ジーンズはご遠慮ください)
連絡先：090-6854-0516(飯田)
※他の場所での施療を希望する方もご連絡ください

取材：齋藤大輝@石巻専修大学
情報ボランティア@仙台 ブログでも発信中です。
http://flat.kahoku.co.jp/u/volunteer16/ より(地域SNS「ふらっと」ブログ)

情報掲示板

仮設住宅やご近所で開催される催し物や相談会、支援団体による支援情報などを紹介します。

津波で流出した写真などをお返しします

東日本大震災の津波被害地域(宮城野区・若林区)でのがれき処理作業中に回収された写真、アルバム、賞状など思い出の品を、1人でも多くの方の手にお返しできるように展示し、所有者やご家族へお渡します。

- 対象 どなたでも入場できます
- 日時 3月7日(金)～16日(日)10:00～17:00
- 場所 出花体育館(宮城野区出花1-13-7)
- 主催 仙台市、震災復興ボランティア団体 おもいでかえる
- 問 022-214-3109 仙台市消防局減災推進課

大震災と詩歌～被災圏からの発信 Part3

詩・俳句・短歌それぞれの表現を通して震災について考える集いです。第1部ではゲストの講話、第2部では「大震災と詩歌」をテーマに鼎談を行います。入場無料、要申込。

- 対象 定員180名 定員になり次第受付終了
- 日時 3月21日(金・祝)13:00～15:30
- 場所 仙台文学館(青葉区北根2-7-1)
- ゲスト 第1部 照井翠(俳人)、梶原さい子(歌人)、第2部 高野ムツオ(俳人)、和合亮一(詩人)、佐藤通雅(歌人)
- 申込方法 電話、FAX(氏名、住所、電話番号記入)
- 申・問 022-271-3020、FAX022-271-3044 仙台文学館

タクシーを利用して復興公営住宅整備予定地やその周辺を確認してみませんか

宮城県タクシー協会仙台地区総支部では、仙台市復興公営住宅入居希望者への支援事業として、仙台市内の自宅から復興公営住宅整備予定地(周辺確認含む)の往復を特別割引料金(3割引)で案内します。

- 対象 仙台市の復興公営住宅整備予定地の現地確認を希望する方
- 日時 送迎時間は10:00～17:00 ※前日まで要予約
- 料金 特別割引料金(3割引)
- 予約 仙台市内のタクシー会社36社で予約が可能です。詳しくはインターネットからご確認ください
- 問 022-256-0356 宮城県タクシー協会仙台地区総支部
http://sentakyo.org

支えあいセンターからのお知らせ

借り上げ民間賃貸住宅(以下、みなし仮設)にお住まいの方を支援する支えあいセンター主催の、おすすめサロン・イベント情報です。すべて参加無料

サロン・イベント名	対象	時	時間	会場	内容	申込	問い合わせ
みんなで作って食べよう	泉区のみなし仮設にお住まいの方	3月7日(金)	10:00～13:00	黒松市民センター	みんなで料理しながら楽しい時間を過ごしましょう	要(電話)	支えあいセンター いずみ 022-772-5755
なつかしの音楽・名曲クラシック	仙台市内のみなし仮設にお住まいの方	3月8日(土)	10:00～12:00	仙台市中央市民センター	みんなで懐かしい音楽を鑑賞しましょう	要(電話)	支えあいセンター みやぎの 022-292-0990
ほのほの中央サロン	太白区内のみなし仮設にお住まいの方	3月8日(土)	10:00～12:00	太白区中央市民センター	わかさ生活スタッフによる「目の知識と目の体操」	要(電話)	支えあいセンター たいはく 022-217-7234
木町サロン	木町地区にお住まいの方	3月15日(土)	13:00～15:00	木町通市民センター	わかさ生活スタッフによる「目の知識と目の体操」	要(電話)	支えあいセンター あおほ 022-217-7234
みやふくde和むちゃ	宮城県沿岸部・福島県から移転し若林区にお住まいの方	3月27日(木)	10:00～12:00	若林区中央市民センター別棟	レクリエーションダンスでリフレッシュ!	要(電話)	支えあいセンター わかばやし 022-781-0559

※その他の交流サロンについては、支えあいセンターからのダイレクトメールでご確認ください

あすと長町仮設住宅イベント(会場はすべて仮設住宅集会所)

※下記以外にもさまざまな催しがあります

日時	イベント	対象	問い合わせ
3月8日(土) 14:00～15:00 3月22日(土) 14:00～15:00	リラックスヨガ	仮設住宅入居者	アテンボヨガ 090-2841-8709(鈴木/平日18:00～)
3月9日(日) 13:00～16:00 3月18日(火) 13:00～16:00 3月19日(水) 18:00～21:00 3月20日(木) 18:00～21:00	陶芸教室 ※別途粘土代500円(500g)	どなたでもどうぞ	あすと焼き陶芸愛好会 090-1064-9764(門馬)
3月12日(水) 13:00～15:30 3月26日(水) 13:00～15:30	糸あそびの会	仮設住宅入居者	色葉工房 090-9072-2160(庄子)
3月13日(木) 10:00～12:00	押し花教室 ※別途材料費1000円以下	仮設住宅入居者	押し花アート「幸の会」 022-225-0424(浅倉)
3月15日(土) 13:00～16:00	暮らしの相談室	仮設住宅入居者	東北大学 080-5271-9227(平泉)
3月19日(水) 10:00～13:00	貼り絵教室(ひょうたん) ※別途材料費200円 ※希望者のみランチ代300円	仮設住宅入居者	安心・安全な町づくり 090-2972-9312(宮内)
3月19日(水) 13:30～15:00	心の悩みを聴く おしゃべりとお茶の時間	仮設住宅入居者	NPO法人 仙台傾聴の会 080-3199-4481 (森山/火・木・土曜日 9:00～17:00)
3月22日(土) 10:30～11:30	元気届け隊の体操教室	仮設住宅入居者	クラブスチアリーダーズ 022-399-7456(鈴木/平日10:00～17:00)

徳照寺 住職

佐藤 和丸

幼児は、昨日迄できなかったことが今日では
さるやうになります。私のやうな高齢者にと
もなればこの逆で、今日やっていることが明日に
はやれなくなる可能性が高いつてわけです。

人の名前がなかなか憶ひ出せなくなり、毛と云ふ毛はすべて白くなりやがて抜け落ちて、歯茎は痩せる一方なのに肉体は肥え、皮膚はたるみ皺が寄り、乾燥して痒くなり、異性への関心は燃える一方なのに性機能は衰へ（嘘！）目はかすみ聴力も落ち、排尿時間も途切れて長くなり、公衆便所では後続の人に遠慮して大使用に入るしまつ。人との会話では同じことを幾度も繰り返して、食事の度毎に多量の薬を服用し、自分にとって大切な品物など家族にさへ何の意味もないのを知りつつも廃棄処分できずに家の到る処に山積みにしたまんな。

でも、これってすべて人生初めてのこと。毎日新たに勃発するわけで、考へてみれば初体験の喜びにならなくちゃ勿体無いことですよ。

私にはもうひとつの喜びがあります。それは仏陀の教への了解が加齢と共に深くなつて行くことと云ふことです。死ぬ迄この勉強ができるってことです。さあ、一緒に学び合ひませぬか。

佐藤和丸(さとう かずまる)

若林区日辺の浄土真宗大谷派・徳照寺住職。情報誌への執筆や居酒屋での説法会などを行う、ユニークな人柄と行動力の持ち主。

クロスワードパズル

出題 石田竹久

こたえ A B C D E

1	2	3	4	5	6
7			8		9
			10	11	
12		13			14
		15	16		17
18	19			20	
21					

タテのカギ

- ①仙台市内の桜の3大名所といえば、榴岡公園、三神峯公園と〇〇公園
- ②大河原町から柴田町へ約8 kmにわたる桜並木は、一目〇〇〇〇桜
- ③石や岩の多い波打ち際のこと
- ④3月21～23日、登米市のとよま観光物産センターで、「春のはつと〇〇〇村」が開催されます
- ⑤主語、述語などを含む書き言葉
- ⑥刺身に添えられる野菜や海草など
- ⑦辞表の内容の定番といえば、「一身上の〇〇〇により…」
- ⑧〇〇〇〇湾に浮かぶ浦戸諸島の朴島は、春になると一面に菜の花が咲くことで知られます
- ⑨俗に、人生は山あり〇〇あり
- ⑩あざらは、メヌケなどのあらと〇〇〇〇の古漬けを酒粕で煮る郷土料理
- ⑪ヨーロッパで広く使われている通貨
- ⑫絵画などを入れて飾るための枠
- ⑬文化やスポーツなどの面で仙台市に貢献した個人、団体に贈られる「賛辞の〇〇」。昨年は楽天イーグルスに贈られ話題に

ヨコのカギ

- ①俗に〇〇〇タレントといわれる人は、親もタレント
- ②短い4脚の食卓といえば、〇〇〇台
- ③この春に学校を卒業した人
- ④仙台市の焼き鳥店の店主が、戦後間もなく提供したのが「牛〇〇焼き」の始まりらしい
- ⑤楽天イーグルスにドラフト1位で入団、新エースの期待がかかる〇〇〇裕樹投手
- ⑥世界最大のエイの呼び名。頭に耳のような一對のヒレがあるのが特徴
- ⑦春、学校では、まず〇〇〇〇〇〇式を迎えます。小中高で、新品のランドセル、制服などが初々しい
- ⑧食べ慣れていて味の良しあしが分かる人ほど、〇〇が肥えています
- ⑨チームのレベルはさまざま。空き地でも市民球場でも〇〇野球は盛んです
- ⑩超高層ビルのこと。仙台市でも、仙台トラストタワーなどいくつかは当てはまるでしょう

前回のこたえ

A ユ B タ C ン D ポ

でした。

1	カ	2	ミ	3	ア	4	ル	フ	5	ア
6	キ	リ	7	タ	ン	8	ポ			オ
	9	オ	ネ	ジ		9	ホ	ネ		
10	セ	ン	11	ユ	ウ	シ				
	12	ト	ウ	13	ウ	14	ド			
15	ザ	オ	ウ	16	キ	オ	ン			
			17	タ	ン	ク				コ

編集後記

あつという間の3年間。いったい自分は何を失い、何を得たのでしょうか。答えが見つからないまま、また大切な日を迎えることになりそうです。今後も変わらぬお付き合いを。(齋藤)

「石の上にも3年」なんて言葉がありますが、あの「3年」には「多くの月日」という意味があるそうです。震災からもうすぐ3年。どれだけ時間が経っても、風化などしませんように。(あつみ)

お住まいを移転される方へ

お住まいを移転されると、移転先に「みらいん」が届かなくなる可能性があります。引越し後も引き続き購読を希望される方は、編集部までご一報ください。

宛先：〒984-0011 仙台市若林区六丁の目西町2-12 「みらいん」編集部
TEL：022-390-5755
FAX：022-390-5756 e-mail：kawara@mmmm.or.jp